

[79]文學研究表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2339158>

出版情報：文學研究. 79, 1982-03-30. Faculty of Literature, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

彙報

九州大学文学部文学科関係講義題目

昭和五十六年度第一学期（昭和五十六年四月～十月）

英語学

特講	English Syntax	大江	教授
演習	Joyce C. Oates	〃	〃
	英作文	〃	〃
演習	意味と形成	〃	〃
特研		〃	〃
演習	英語語彙の意味変化研究	河上	助教授
〃	英文法研究	〃	〃
〃	語法研究 I	〃	〃
講読	英米文学作品速読	〃	〃
特研		〃	〃
	英会話（中級）	クラーク	教師
	英会話（上級）	スマイリー	教師
	英文学	蛇原	助教授
講読	シェイクスピア	〃	〃
演習	文学研究の方法	〃	〃
〃	史劇	〃	〃
特研		〃	〃

演習 小説 クラーク 教師

〃 キーツの詩 〃

〃 ミルトン 〃

〃 コンラッド (教養部) 吉田 助教授

臨講 スペンサー研究 (大阪大学) 藤井 助教授

米文学 スマイリー教師

演習 劇 〃

〃 小説 〃

〃 W. Faulkner, *The Sound and the Fury* 〃

講義 「社会的弱者」の行方 (教養部) 橋口 教授

昭和五十六年度第二学期 (昭和五十六年十月～昭和五十七年三月)

(昭和五十六年十月～昭和五十七年三月)

英語学 大江 教授

演習 英語の歴史 〃

〃 文学作品の語学的研究 〃

〃 意味と形成 〃

特研 英語第一 〃

講義 語用論 河上 助教授

演習 英文法 (統) 〃

〃 英会話・英作文 〃

演習 語法研究 II 〃

特研 英会話 (中級) 〃

クラーク 教師

英会話(上級)

スマイリー教師

英文学

特講 ロマンズ劇

蛭原 助教授

講読 ミルトン

〃

演習 スペンサー

〃

特研 テニソン

クラーク 教師

演習 Murdoch, *The Sandcastle*

〃

〃 形而上詩

〃

〃 ロレンス

(教養部)

園井 助教授

演習 短編

スマイリー教師

〃 劇

〃

〃 H. James, *The Ambassadors*

〃

〃 短編

(教養部)

橋口 教授

学会・研究室行事

英語学・英文学関係

○日本英文学会第53回大会

(昭和56年5月23・24日 於創価大学)

シンポジウム

イギリス詩現況

園井 英 秀

○日本英文学会第34回九州支部大会

(昭和56年11月14日・15日 於筑紫女学園短期大学)

A. C. Bradley の *Hamlet* 批評

中司 雅 謙

英雄 Coriolanus の悲劇

太田 一 昭

コンラッド初期の夢想家たちの夢と自己認識——

『島の流れ者』『ロード・ジム』『闇の奥』を中

城島 秀 子

心に——

J・ジョイス『若き日の芸術家の肖像』

織田 康 江

——主題と手法——

ナサニエル・ホーソンの『緋文字』に於ける現実

田江 安 広

使役動詞 make, get, have の内在の意味と補文

徳永 信 子

の相のかかりついて

〃

Verbs of Saying の意味的・統語的特徴につい

〃

平叙文における語順転倒につい

熊本 千 明

二つの Aspect と完了進行形

坂本 育 生

シンポジウム

吉原 久 美子

アメリカ演劇における family

〃

シンポジウム

上野 征 一郎

Ocain No. 24 (昭和56年11月発行)

ギャスケル『従妹フィリス』の一考察

大野 龍 浩

——青春の日の恋——

〃

J・ジョイス『若き日の芸術家の肖像』

織田 康 江

——芸術入会の動機付け——

〃

'Should' の基本的意味につい

〃

——間接発話行為の観点から——

熊本 千 明

平叙文における語順転倒について

——focus, weight, emphasis との関係——

坂本 育生

D. H. Lawrence, *Lady Chatterley's Lover*

——構成と意味——

ナサニエル・ホーソンの四つの短編

——孤立というテーマを中心に——

法助動詞に反映される話し手の主観性

——must, may, can に関して——

使役動詞 make, get, have の意味

進行形の意味と用法について

○九州大学公開講座

(昭和56年9月5日～11月14日 於九州大学教養部)

テーマ ことばの科学

ことばと意味——発話文の意味

○九州アメリカ文学会 (於九州大学教養部)

A Question of Identity: *Invisible Man*

ダグラス・D・スマイリー

○第6回九英会賞

『英語の語源』I・II (創元社、昭和56年)

太田垣 正義

昭和五十六年度第一学期 (昭和五十六年四月～九月)

国語学

特講 国語学要論

奥村 教授

演習 平曲

〃 国語学の諸問題

特研 アクセント史

特講 国語史

演習 説話集研究

〃 国語史資料研究

特研 国語表記法の研究

演習 万葉集 (福岡女子大学)

特講 国文学

特講 王朝末期物語論

演習 蜻蛉日記

〃 江談抄

特研 平安朝文学研究の諸問題

特講 洒落本史

演習 西鶴

〃 五山堂詩話

特研 近世文学の諸問題

演習 現代文学作品研究 (教養部)

〃 近代詩の諸問題

特研 近代文学史論

講義 『おくのほそ道』の諸問題

臨講 都市空間の文学 (福岡大学)

〃 (立教大学)

昭和五十六年度第二学期 (昭和五十六年十月～三月)

〃

〃

〃

迫野 助教

〃

〃

〃

鶴 教授

〃

〃

〃

〃

〃

中野 助教

〃

〃

〃

〃

〃

〃

〃

白石 教授

前田 教授

国語学

(福岡大学) 白石教授

特講 国語学要論

奥村教授

演習 平曲

〃

〃 国語学の諸問題

〃

特研 アクセント史

迫野 助教授

特講 国語史

〃

演習 説話集研究

〃

〃 国語史資料研究

〃

特研 国語表記法の研究

鶴 島 教授

講義 上代語の研究

(福岡女子大学)

鶴 島 教授

臨講 訓点語の研究

(東京大学)

築 島 教授

国文学

今井教授

特講 王朝末期物語論

〃

演習 紫式部日記

〃

〃 拾遺和歌集

〃

特研 平安朝文学研究の諸問題

中野 助教授

特講 洒落本史

〃

演習 西鶴

〃

〃 五山堂詩話

〃

特研 近世文学の諸問題

(教養部)

重松 教授

演習 現代文学作品研究

〃

〃 近代詩の諸問題

〃

特研 近代文学史論

〃

講義 『おくのほそ道』の諸問題

〃

学会・研究室行事

国語学・国文学関係

○九州大学国語国文学会 (昭和56年6月7日)

中原中也論——生活との確執について——中原 豊

萩原朔太郎 「愛憐詩篇」から『月に吠える』へ 国生 雅子

動詞構成接尾辞についての一考察

——上代資料を中心に—— 大橋 百合子

平曲資料に反映した清濁の一考察 中村 万里

『風に紅葉』について 辛島 正雄

大鏡と伊勢・古今 森下 純昭

長門本『平家物語』における住吉明神と伊勢明神 橋口 晋作

黄表紙『鉦男 金紙屑』小考 中山 右尚

『大和物語』初段を考える——宇多・伊勢所生子 吉田 達

二人説を背景として—— 今井 源衛

『我身にたどる姫君』の女人像

○第31回西日本国語国文学会

(於鹿児島大学、昭和56年9月19~20日)

音便形・助動詞等の仮名遣い 坂口 至

——近世初期平仮名資料における——

『延五秘抄』について

萩市見島の方言アクセント私見

九州大学附属図書館萩野文庫蔵『今昔物語抄』

について

院政・鎌倉期における表記形式と漢字使用の

関連について

『伊勢物語』二段を考える

○語文研究 第51号(昭和56年6月)

支子文庫本「拾玉集」について

原音声調から観た日本書紀首仮名表記試論

定家本『土佐日記』の表記について

△紹介▽

今井源衛著『菘倫 光源氏一部歌』

中野三敏著『戯作研究』

昭和五十六年度第一学期

中国文学

特講 李白論

演習 文選李善注

〃 毛詩注疏

特研 中国文学の諸問題

特講 柳宗元の文学

演習 詩品

〃 滄浪詩話

崎村弘文

添田建治郎

追野虔徳

檜田良照

吉田達

西丸妙子

高山倫明

望月正道

古賀典子

中山右尚

特研 中国文学思想史の諸問題

演習 好球伝

〃 唐人小説

〃 中国現代小説

臨講 顧炎武を中心とした文学者たち

中国語学

演習 老残遊記

〃 現代中国語文体研究

〃 現代漢語語法研究

昭和五十六年度第二学期

中国文学

特講 李白論

演習 文選李善注

〃 毛詩注疏

特研 中国文学の諸問題

演習 好逑伝

〃 唐人小説

〃 清代詩文

〃 中国現代小説

中国語学

演習 老残遊記

〃 現代中国語文体研究

〃 現代漢語語法研究

劉 教 師

〃

岩 佐 助 教 授

〃

清 水 教 授

〃

劉 教 師

〃

那 須 教 授

〃

〃

〃

岡 村 教 授

〃

〃

〃

劉 教 師

〃

〃

合 山 助 教 授

〃

岩 佐 助 教 授

〃

劉 教 師

〃

学会・研究室行事

中国文学関係

○中国文芸座談会

第74回（昭和56年1月25日）

帰荘の文学における錢謙益の継承

干宝「搜神記」考

第75回（3月29日）

馮夢龍「三言」の対偶的編纂方法について

—— 喻世明言の部 ——

袁中郎の「性靈」

—— その動揺と混乱 ——

第76回（6月28日）

『文心雕龍』上巻二十五篇について

—— 原理論と文体論の関係 ——

李白「峨眉山月歌」考

—— 李白の出蜀経路とその詩想開眼 ——

第77回（9月6日）

曹操とその周辺

杜牧の詩と散文

○昭和56年度九州中国学会（於佐賀女子短期大学）

馮夢龍の三言編纂の性格について

袁中郎の「性靈」

—— その動揺と混乱 ——

呉梅村「琵琶行」における白居易「琵琶行」の

受容—— 遷謫の意を中心にして —— 竹村 則行

○第三十三回日本中国学会（於北海道大学 10月3日）

杜牧の詩と散文

—— その両者を支える創作基盤 —— 愛 甲 弘 志

李白の「峨眉山月歌」について

—— 李白の出蜀経路とその詩想開眼 —— 岡 村 繁

○中国文学論集 第10号（昭和56年11月発行）

敦煌卷子俗写文字与俗文学之研究 潘 重 規

続・初唐歴史家の文学思想 古 川 末 喜

洛陽時代の白居易

—— 「狂」という自己意識について —— 二 宮 俊 博

杜牧と韓愈との関係について 愛 甲 弘 志

『古今小説』の編纂方法

—— その対偶構成について —— 福 満 正 博

袁中郎の性靈説

—— その動揺と帰結 —— 西 村 秀 人

呉偉業「琵琶行」における白居易「琵琶行」の

受容 竹 村 則 行

△書評▽

林田慎之助著『魯迅のなかの古典』 山 田 敬 三

中国文学論集既刊総目録

昭和五十六年度第一学期

独語学

演習 中世語学 (Helmbrecht) 西田 教授

〃 独訳演習『夢酔独言』 伊藤 助教授

〃 独語会話 (産業医大) E・J・ニーデラー講師

独文学

演習 十九世紀文学 (Don Juan und Faust) 西田 教授

〃 中世文学 (Parzival) 西田 教授

特研 論文指導

演習 現代文学 (Der Mann ohne Eigenschaften) 伊藤 助教授

〃 十八世紀小説 (Anton Reiser) 〃

特研 Colloquium 〃

演習 言語世俗化類型論 (福岡大学) 稲元 教授

〃 ドイツ現代詩 (教養部) 両角 助教授

昭和五十六年度第二学期

特講 独語史 西田 教授

演習 中世語学 (Der arme Heinrich) 〃

〃 独訳演習『日本人とは何か』 伊藤 助教授

〃 独語会話 (産業医大) E・J・ニーデラー講師

独文学

演習 中世文学 (Tristan) 西田 教授

特研 論文指導

特講 ゲーテの自叙伝 伊藤 助教授

演習 現代文学 (Der Mann ohne Eigenschaften) 〃

〃 十八世紀小説 (Anton Reiser) 〃

特研 Colloquium 〃

演習 言語世俗化類型論 (福岡大学) 稲元 教授

〃 ドイツ現代詩 (教養部) 両角 助教授

臨講 現代ドイツ演劇 (学習院大学) 岩淵 教授

〃 ドイツ思想史 (名古屋大学) E・ヘルツェン教師

学会・研究室行事

独文関係

○日本独文学会第35回総会研究発表会

(昭和56年5月13日・14日 於東京・日本都市センター)

○日本独文学会秋季研究発表会

(昭和56年10月6日・7日 於愛媛大学)

ドイツ自伝小説の源流への一考察 伊藤 利男

„Sie wissen das nicht, aber sie tun es.“をめぐって (シンポジウム「ルカーチの文芸理論

の諸問題」において) 稲元 萌

トーマス・マンにおけるフミニスムスの概念に

ついで 田中 曉

書簡に見るひとつのニーチェ像 武田輝章

○第33回日本独文学西日本支部総会研究発表会

(昭和56年11月28日・29日 於熊本大学)

ギェンター・グラスの『猫と鼠』——主人公

ヨアヒム・マールケの生と死について——

レッシングの文学観 大羽 武

『緑のハイムリヒ』における「祈り」について 軽部 雄二

リルケの芸術観 阿部 吉雄

ワイマル時代初期のゲーテ 知念 潔

——その使命と芸術—— 八木 昭臣

昭和五十六年度前期

仏語学

演習 J. P. Richard: Microlectures 田中 教授

演習 A. de Musset: Fantasio " "

演習 Le Bidois: Syntaxe du français moderne. (教養部) 高藤 助教授

演習 Conversation (教養部) ブーヴィエ教師

演習 Molière: Bourgeois Gentilhomme " "

演習 仏文学

演習 J. Starobinsky: L'Oeil vivant 田中 教授

演習 B. D'Aurevilly: Diaboliques " "

特研

演習 Poèmes français (A. de Vigny etc...) 西岡 助教授

演習 Si-Beuve: Causeries du Lundi " "

特講 ハルサックを中心とした地方文学 " "

特研 演習 J. Girardoux: La Guerre de Troie n'aura pas lieu (熊本大学) 常岡 教授

演習 Proust: A la Recherche du Temps perdu ブーヴィエ教師

演習 Dissertation " "

昭和五十六年度後期

仏語学

演習 J. P. Richard: Microlectures 田中 教授

演習 J. Dubois: La Nouvelle Grammaire du Français. " "

演習 Le Bidois: Syntaxe du français moderne. (教養部) 高藤 助教授

演習 Conversation (教養部) ブーヴィエ教師

演習 Langue et la Civilisation françaises " "

演習 仏文学

演習 R. Barthes: Sur Racine. 田中 教授

演習 B. D'Aurevilly: Le Rideau Cramoisi " "

特研 演習 Poèmes français (Baudelaire, Hugo, " "

etc. ...)	西岡 助教
M. Bator: La Critique et l'Invention	" "
Balzac: Les Proscrits	" "
特講 バルザックを中心とした日本文学(統)	" "
特研 Zola: L'Attaque du Moulin	" "
(熊本大学) 常岡 教授	
Proust: A la Recherche du Temps perdu.	ブーヴィエ 教師
Preparation aux differents concours	" "
昭和五十六年度第一二期	
言語学	
特講 意味論の歴史	松田 教授
演習 意味の分析	
Dillon: Introduction to Contemporary Linguistic Semantics	" "
ハブライ語 I	" "
意味論演習	" "
特研 Smith & Wilson: Linguistics 他	早田 助教
演習 音声学	" "
" 音韻論実習	" "
特研	" "

彙 報

演習 近代英語音韻史論 (教養部)	林 教授
" ハリデーの文法理論	" "
" ロマンズ言語学 (西南学院大学)	富盛 助教
昭和五十六年度第二二期	
特講 言語学概論 Lyons: Language and Linguistics	松田 教授
演習 意味の分析 Nida: Componential Analysis of Meaning	" "
" ハブライ語 II	" "
" 意味論演習	" "
特研 日本語方言の記述法	早田 助教
特講 東洋語の諸問題	" "
演習 音韻論実習	" "
特研 近代英語音韻史論 (教養部)	林 教授
演習 ハリデーの文法理論	" "
" ロマンズ言語学 (西南学院大学)	富盛 助教
臨講 アイヌ語概説 (早稲田大学)	田村 助教

学会・研究室行事

言語学 関係

○九大言語学研究室報告 第2号 (昭和56年4月発行)
九州方言に見られる母音語幹動詞のラ行子音語幹

化について

陣内 正敬

「訓民正音」表記にみられる抽象性二題

田村 宏

アラビア語エジプト方言における G C G C G

動詞に就て

松田 伊作

卒業論文要旨(昭和56年1月提出)

日本語の「擬情語」の意味分類

中島 由美

満洲語文語の従属文の主語がとる助詞「及び」

be について

久保 智之

アラビア語の前置詞の意味

敷田 康

アラビア語動詞における基本形と第3形の意味

関係

深川 順子

アラビア語動詞の第2形について

宮本 真由美

○第二十一回 九州大学言語科学研究会

(昭和56年4月4日 於九州大学医学部)

九州方言における母音語幹動詞のラ行子音語幹化

について

陣内 正敬

朝鮮語の外来要素の語頭Rについて

田村 宏